

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年 7月17日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677600126
法人名	社会福祉法人 誠心会
事業所名	グループホーム南松園
所在地	鹿児島県肝属郡錦江町田代川原430—1 (電話) (0994) —25—2364
自己評価作成日	平成30年5月23日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成30年6月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

◎地域との関わりが途切れないように地域住民との交流、行事参加や社会資源の活用を積極的に推進している。

◎介護の重度化が進む中、近隣にあるクリニックと医療面の連携を図り健康で安心した生活を送れるように取り組んでいる。

◎重度化に対応した、環境整備と介護技術の向上に取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○「常に利用者の立場に立って行動する。入所者の意思を尊重したケアを心がける。地域との連携、交流を図りながら家庭的な雰囲気と温もり、穏やかな時間の流れを感じさせる運営を心がける」という理念を掲げ、毎日の唱和や目に付く場所に掲示することで意識付けを図っている。管理者は、特に「意思を尊重したケア」を重視して日々の生活や関わり方を工夫していきたいと考えている。

○運営推進会議には、家族や地域住民、行政職員等が参加し、事業所の活動内容の報告のほか、認知症に関することや災害時の対応について勉強する場にもなっている。また、昔よく家庭で作られ食べていたお菓子作りの提案や、地域で行われているグランドゴルフへの勧誘など、毎回活発に意見交換がなされており、見学に来られる地域住民も多く、地域に根差した事業所として、親しい関係が築かれている。

○災害訓練については、年2回夜間想定を含む訓練を地域住民の参加も得ながら実施している。また、その他に自主訓練を行うとともに、風水害の研修に参加し、どのような対応を地域住民とともに行えるかを、職員間で話し合い検討している。備蓄に関しては、飲料水や米、レトルト食材を数日分程度備え、備品についても、随時、必要物品を話し合い購入するなど、万一来た取り組みが積極的に行われている。

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>事業所理念を事業所内に掲げ、職員全員が理解し、日々のサービスに活かすように取り組んでいる。</p>	<p>理念に掲げる「意思を尊重したケア」を重視し、日々の生活の中で実践できるよう朝礼時に確認したり、事務所やリビング等、目に付きやすい場所に掲示し意識付けを図っている。また、家庭的な雰囲気作りやその人らしさについても大切に考え支援につなげている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域のイベントや法人内他事業所の行事に参加したり、地域住民とお茶会を行ったりするなど積極的に交流している。</p>	<p>保育園の運動会に参加したり、法人主催の夏祭りや運動会に地域住民の参加が得られるなど相互に交流している。また、散歩や買い物に出かけた際の地域住民との会話や、敷地内での茶話会での交流のほか、畑で採れた野菜の差し入れをいただくなど、地域に根差した事業所として親しまれている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>家族や地域の方の来園時などに、認知症に関する相談やアドバイスなどを行う事もある。</p>		

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者の家族、近隣住民や行政の方々の参加の中で、一方的な説明をするのではなく、意見交換できる時間を設け、サービスの参考としている。</p>	<p>会議には家族や近隣住民、福祉課の職員等が参加され、事業所の活動内容の報告のほか、災害時の対応の仕方や認知症についての説明を行うなど勉強会の場にもなっている。参加者からは、地域行事の案内や子供の頃によく食べたおやつ作りの提案をもらうなど積極的に意見をいただいております、有意義な会となっている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市町村担当者と連絡を取り合う中で、当園の状況を説明することもあり、運営推進会議で詳細を説明している。</p>	<p>行政職員とは、運営推進会議や各種研修等で顔を合わせるほか、介護保険関係書類の提出や質問のために出向くなど、日頃から連携を図っている。また、逆に行政から、おむつ券の利用状況についての問い合わせを受けるなど、事業所の実情や日々の取り組みを伝える機会は多くある。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束を職員全員が理解しており、研修参加により知識向上を図っている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置し、年に数回、法人全体の会議で身体拘束をしないケアについて話し合うほか、ミーティング時にも議題に挙げることがあるなど、積極的に話し合いの場を設けている。地域には、運営推進会議を通して、広く事業所の理解を求めるとともに、日頃の交流からも、見守りや声かけをしてもらえる関係を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>今のところ外部研修で学ぶ機会がないが、法人内勉強会で研修を行うことがある。全職員は虐待の意識を持っており、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>今のところ学ぶ機会が乏しいが法人内勉強会で研修を行うことがある。今後も検討していきたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>重要事項説明書・契約書を利用者様・ご家族の前で説明し、十分納得して頂いた上で契約を結んでいる。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>事業所内に意見箱を設けている。また、面会の際に要望や意見を伺うようにしており、改善すべきことがあれば職員会にあげている。</p>	<p>普段の様子や会話から本人の意見や思いを把握するとともに、家族からも面会時等に要望を確認している。出された意見や要望については、職員間で速やかに検討した上で詳細に説明し理解につなげている。また、毎月家族に日常の様子を記録したホーム便りを送付するなど、意見の出しやすい関係作りに努めている。</p>	

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期的な会議により意見や提案を聞くようにしており、サービスの改善、環境整備につなげている。</p>	<p>申し送りやミーティング時等、普段から職員の意見を聞くよう努めており、体調面について話を聞いたり、気になった場合は個別に面談するなどしている。また、精神的・身体的にも充実した環境で働いてほしいと考えているため、勤務希望等柔軟に対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>就業規則を整備している。また、有給休暇の取得や、休み希望願など快く話ができる雰囲気を作っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の経験、技量をみながら、本人に適した質の高い研修に参加させるよう配慮している。また資格取得を支援している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣に事業所が少ないこともあり今のところ交流する機会が乏しいが環境づくりに努めていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用前に、本人の不安な点や要望を聞くようにし、サービス、生活環境の改善につなげている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用前に、家族の不安な点や要望を聞くようにし、信頼関係が築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用前に、本人や家族の不安な点や要望等を聞くようにし、専門職の視点から必要な支援を助言している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	料理作りや野菜作り、日常の作業などをいっしょに行い、常に会話するよう心がけている。		

自己評価	外部評価		自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族へ月に1回、手紙を送り近況を伝えている。また運動会や日帰り旅行などの行事の時は参加への呼びかけを行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの店の利用や入所前に暮らしていた自宅付近のドライブ、また旧友や知人が面会に来られた時はゆっくり話ができるような環境作りに努めている。	入所の相談を受けた際は、管理者と介護支援相談員が直接聴取に向き、詳細な生活歴を聞き取ることによって、馴染みの人や場所の把握につなげている。把握した内容は、職員全員で共有し支援できるよう介護計画に組み込んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとりに声掛けを行い、利用者みんなで会話できる雰囲気をつくっている。またみんなで楽しめるレクリエーションを工夫している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	施設への入所や、病院入院による退所の場合などでも、気軽にホームに遊びに来て頂くよう声掛けをしている。		

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日常生活の中で、本人の希望を聞いたり、気づいた点があった場合、記録に残している。</p>	<p>日々の会話や様子、また表情等から思いを把握するとともに、家族の意見や情報も参考にしている。把握した内容は「引き継ぎノート」に記録し、申し送り時や職員会議で情報の共有を図っている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>サービス利用前に本人、家族から聞き取りを行い、生活歴や環境を把握している。またサービス利用の中で気づいた部分は随時記録をしている。</p>	/	
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>生活をしている中で、本人の行動の変化や言動など気づいた点があれば随時記録をしている。</p>	/	
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者、家族、関係職員で意見交換を行い、改善すべき課題や生活環境があればそれを反映させた介護計画を作成している。</p>	<p>本人、家族の意向を基に、主治医や看護師、薬剤師等関係者の意見も参考にしながら介護計画を立てている。3ヵ月毎にモニタリングを実施するほか、気になる事や変化がみられた場合は、その都度「ケース会」を開催し、必要に応じて介護計画を作り直し、担当者会議を経て関係者全員に交付している。</p>	

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日常生活の中で、本人の気づいた点や変化を随時記録し職員間で情報共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族のニーズを把握し専門職の視点から、さまざまな支援、アドバイスを行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者の今までの生活環境の中での地域とのつながりを把握し利用者の要望に応じた地域資源の活用に向けている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人と家族の意向を尊重しており、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>月2回訪問診療が受けられることや、薬の照会、状態確認が取りやすいこと、また24時間連絡体制が整っていること等により、利用者全員が協力医療機関を主治医としている。眼科等の他科受診については、家族と職員が協力して支援しており、記録と共有も適切になされている。</p>	

自己評価	外部評価	自己評価			外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常生活の中で気になる事や気づいた事を、連携している訪問診療の看護師に伝えている。</p>			
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>地域の病院担当者と密に連絡を取り合っている。情報交換や相談を行う事で、円滑な病院利用に努めている。</p>			
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期のケアや重度化の対応については利用開始前にホームの方針を説明し、利用者、家族、嘱託医、職員と意見交換をしている。</p>	<p>契約時に、重度化した場合の対応について説明し同意を得ている。事業所に看護師がいないこと、緊急時の対応が難しいことなどから、看取りまでの支援は行っていないが、事業所としてできることについて関係者全員で話し合い、理解と同意の上で、最大限の支援につなげている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変、事故発生時に対応できるよう、職員勉強会やマニュアルを整備して迅速に対応出来るよう訓練している。</p>			

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>近隣の方も参加した火災避難訓練を定期的に行っている。避難マニュアルも定期的に見直している。</p>	<p>年2回夜間想定を含む災害訓練を、地域住民の参加も得ながら実施するほか、年3回避難経路の確認等、自主訓練も実施している。オール電化のため、カセットコンロを多く準備したり、台風の時期には必要物品を話し合い購入している。備蓄については、飲料水や米、レトルト食品等を数日分確保している。</p>	
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人格を尊重したサービス、丁寧な声掛けを全職員が意識して行っている。</p>	<p>法人全体の研修の中に人格の尊重やプライバシーに関する項目を組み込み、職員全員が意識し、配慮した接し方に努めている。また、トイレ誘導時はさり気なく声をかけたり、個人カルテは部外者の目に触れないよう適切に管理されている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日頃の会話の中で、利用者の希望や意見を引き出すように心がけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な1日の流れは計画しているが、利用者の意向、体調や状況に合わせて変更している。</p>		

自己評価	外部評価		自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	外出や地域の行事への参加の時は化粧を手伝っている。また日常生活での衣服もなるべく本人に選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常の会話の中で食事の好みなどを聞いている。食事作りや食材の買い物、畑での野菜の収穫など一緒に行うように心がけている。	特に献立は立てておらず、冷蔵庫にあるものや当日買い物に出かけ食材を調達するなどして、食べたいもののリクエストに応えやすくしている。季節が感じられる行事食の提供や、あく巻き、かるかん作りなど、利用者と職員が食べることの楽しみを大切にしながら同じ時間を過ごしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、水分・食事量を記録して、利用者の健康状態の変化が早期に分かるようにしている。また食事の献立など施設の管理栄養士に助言をもらったりしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯磨きや、入れ歯洗浄の声掛けをして利用者の状態に応じて手伝いをしている。		

自己評価	外部評価	自己評価			
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の声掛けや、トイレ誘導をして、なるべくオムツに頼らないよう支援している。	「生活・身体・栄養状況記録」に排泄チェック項目を設け、利用者全員の記録を取り管理している。リハビリパンツを使用される方も、日中は基本的に全員トイレで排泄できるよう支援している。また、トイレ内動作が自立して行えるよう便器両サイドに手すりを取り付けている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便の状況を記録しており、便秘の方には水分の摂取方法の工夫や体操や散歩など運動への働きかけをしている。また施設の管理栄養士から便秘予防の食材の助言をもらい食事内容の参考にしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	計画的な入浴をおこなっているが、希望や体調等に合わせて臨機応変に入浴できるよう支援している。また重度化に対応した介護の工夫や環境整備に努めている。	週3回程度の入浴としているが、シャワー浴や足浴も含め、希望に応じていつでも入浴は可能である。冬至にゆず湯をしたり、入浴剤を使用して楽しく入浴しており、入浴後の水分補給としてスポーツ飲料やカルピス等提供し喜ばれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	基本的な一日の流れは計画しているが利用者の体調や意向などに合わせて変更している。また利用者の好きな時間に休めるように支援している。		

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬を適切に服用できるようホームにて管理している。また処方箋を整理して、いつでも職員が内容を確認できるようにして随時、薬剤師からの助言指導も受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所時に家族、利用者より生活歴や趣味などの情報をもとにその人に合った役割をお願いしている。また趣味も楽しめるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者の希望を尊重した、ドライブや遠足、買い物等の外出支援を行っている。また家族の方の協力を頂いて自宅への外出、宿泊などが出来るように支援している。	加齢による体力の低下に伴い、利用者全員で出かけることが難しくなってきたが、なるべく外出による気分転換を図ってもらいたいと、数名ずつ出かけるようにしている。初詣や雄川の滝見物、季節ごとの花見など、個々の状態や天候に配慮しながら楽しく出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	日常生活では使用する機会がないが、外出やショッピングでは一人ひとりがお金を所持し、好きなものを買えるように支援している。		

自己評価	外部評価		自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者からの希望があれば電話や手紙のやり取りを支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地良く過ごせるように、シンプルなりビングとしている。また季節感を感じられるような飾り付けの工夫をしている。	リビングの天井は高く、加湿器を置いて温度や湿度調整がなされており、また、掃除も徹底されているため、気持ちよく過ごせる空間になっている。七夕飾りなど、利用者と職員が一緒に作った季節毎の作品や行事の写真も掲示され、楽しい雰囲気を感じられる。庭には、しょうぶやバラ、菊などがきちんと手入れされており、見る人を和ませてくれる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者同士でゆっくりと会話やテレビを楽しめるようなソファの配置などの工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族と相談して、自宅で使用していた馴染みの物や写真・装飾品などを持ってきて頂き利用者が安心して暮らせる居室となるよう配慮している。	ベッド、エアコン、クローゼット、飾り棚が備え付けられ、自宅から持ち込まれたテレビや位牌、写真やぬいぐるみ等により居心地良く過ごせる環境を整えている。毎朝の掃除のほか、感染症予防を兼ね、手すり等随時消毒液を用いた掃除がなされている。	

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者が安心して生活できるよう、建物内部の配置の工夫をしたり、その人の「できること」「わかる事」に合わせた声掛けを行うよう工夫している。</p>			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない